

平成28年度 基盤研究（S） 審査結果の所見

研究課題名	Wntシグナルネットワークの異常によるがん発症の新規分子機構の解明
研究代表者	菊池 章（大阪大学・大学院医学系研究科・教授）※平成28年6月末現在
研究期間	平成28年度～平成32年度
審査結果の所見	<p>本研究は、これまで応募者が長年世界に先駆けて進めてきたWntシグナルの研究成果を踏まえて、（1）がんにおけるβ-カテニン経路の下流ネットワークの解明並びに（2）がんと炎症の接点としてのWnt5a/β-カテニン非依存性経路の役割の解明の2つを柱にした堅実な研究である。先行する上皮形態形成を基盤とした新規がん関連シグナル（Arl4c, Dkk1-CKAP4, Greb1）、Wnt5aの遺伝子改変マウスを用いた研究は先駆的であり、それぞれのシグナルの腫瘍形成における役割を解明することで、将来の創薬の基盤にもつながるものと期待する。以上の理由から、基盤研究（S）として採択すべき課題であると判断した。</p>